

宮方子さまに学ぶ道ののみやまさこ

木

副山首

鈴

正

修

(李方子さま) です。

今回紹介するのはまさにその一人で、二つの祖国を持った王妃・梨本宮方子さまにかいとうか こうした日韓関係史にあって、両国の親善に尽くしてきた様々な人がおられます。

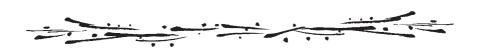
近くて遠い国と言われる日本と韓国は、

昨今も何かと摩擦が絶えません。ただ、

子さまは鍋島侯爵家の御出身です。 方子さまは一九〇一年、梨本宮家の長女としてお生まれになりました。

妃候補の一人として名前が取り沙汰されますが、学習院女子中等科在学中に来日さいには、のとり、 なまえ と ざた がくじらんじょしょうとうかざらがくき らにち 一時は裕仁親王 (のちの昭和天皇) の有力なお

母の伊都と



れていた韓国皇太子李垠殿下と婚約されました。 W ・わゆる日韓併合後の「 「政略結婚

でした。

まは く見られた朝刊の記事だったと言います。 方子さまが御自身の婚約を知られたのは、 に御両親に「大変なお役だと思い」によったいくん ますが、 その後、 御両親の意にそうよう努力させて頂 避暑に訪れていた大磯の別邸で何気なから、 正式に婚約を告げられた方子させいしょ

ます」ときっぱりと言われたそうです。

夏休みが終わり、 その姿に学友たちは覚悟を感じ、 初登校の日、 方子さまは髪を韓国式に結いまること 圧倒され、 感心したと言います。 昂然と登校されまし

しての責務を強く自覚し、 政略結婚ではありましたが、 祖国を離れて日本で暮らす夫やその兄弟を献身的に支え 方子さまは自分に課せられた日本と韓国の架け橋と

られました。

垠殿下と方子さまは王公族の身分と日本国籍を喪失して、 ウンでんか まさこ おうこうぞく みぶん にほんこくせき そうしつ 終戦後、 夫妻の生活は一変します。 日本国憲法の施行に伴う王公族廃止により、 一在日韓国人となったの

この時日本の陸軍

十士官が



お二人の生活はたちまち困窮し、 邸宅や資産を売却しながら、 はいまで 細々と生活をされ

て拒否されました。 一九六二年に朴正煕が大統領となり、 転ん 夫妻は手厚く迎え

られました。

方子さまは意を決 して韓国に帰化 当ら 時じ の韓国ではまだ進んでい なか つ

た障害

児教育 のは八歳になる女児たった一人でしたが、 まず新聞に、心身に障害のある訓練生を募る広告を出されました。 (主に知的障害児・ 肢体不自由児) 延世大学の一 に後半生を捧げる覚悟をされます。 隅を間借りして教育を開始する。まが、かいし

され たのです。

販売したり、王朝衣裳の発表会なども行なわれました。 資金繰りも大変で、七宝焼や書また絵の制作などに自ら励み、 商品としてこれを

方子さまの身を粉にしての努力が実り、 知的障害児施設

々なことを学んでい 護学校である「 最初は反日感情により、 慈恵学校」 、ます。 が設立され、現在、 様々な非難を浴びた方子さまでしたが、 なお明暉は垠殿下の、 多くの子どもたちが将来に向けて様い。 慈恵は方子さまの 「明暉園」 か雅号である その真心が通じ と知的障害養 ります。

応募してきた



朝のこない夜はない(214)

列されました。 旧令に従い韓国皇太子妃の準国葬として執り行なわれ、 九八九年四月三十日、 一九八一年には韓国政府から「牡丹勲章」が授与されました。 その日の 0) ソ 、ウルの沿道には多くの市民が詰めかけ、 方子さまは永眠されました。八十七歳でした。その葬儀は 日本からは三笠宮御夫妻が 涙ながらに葬列を

たのでしょう。やがて韓国国内で好意的に受け止められるようになり、

功績が認めら

後に韓国国民勲賞槿賞 勲~ 陸英修女史のお言葉です。ユクヨンスじょし 等)が追贈されました。

見送ったと言います。 最後に朴正煕大統領夫人の

に対するイメージを向上させ、厳しい日韓関係を和らげる役割を果たされました」 の皇族の御出身で、 李方子妃殿下は、 奉仕活動を真心から率先なさったことは、ほうしかつとう。まごえをさせん 六十年代に誰もしなかった障害者事業をはじめられました。 韓国国民の日本人女性かんこくこくみんにほんじんじょせい 日に本ん